

Imadoki

2023
January 1

vol.93



新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで弊社は、昨年是一个の節目である創業から 25 年を迎えただけでなく、樋口の後任として私が三代目の代表取締役社長に就任させていたできました。

IT に代表される技術の進化、コロナによる価値観や行動の変容、そして悲しい話ですがウクライナでは戦争が日常となるなど激変する世界の潮流の中にあって、あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面しています。私を含め社員一同は、「お客様の価値向上」を大切に、2023 年も継続して地道に、着実に「お客様の価値向上」に取り組んで参りたいと存じます。

年初ではありますが、少し振り返って 2020 年、2021 年はコロナ禍により「東京へ行く」と言っただけで眉を顰めるような行動制限があり、一步踏み出さないことも否定されない混迷を極めた 2 年間でした。

しかし、2022 年の後半以降はコロナによる暗黒の時代は終わりを告げ各企業が、「できない理由を探す」より、「できる理由を探す」時代がやってきたように感じます。私も 2022 年は「もっと頑張れたはず」、そして 2023 年は「もっと頑張ろう」という思いがあります。

2023 年は今一度、お客様の会社、社長様、そして皆さんに「あるべき姿、夢は何ですか?」と問いかけながら、御社や皆さんが明日への一步を踏み出すお手伝いをスタッフと共に伴走させていただきたいと思ひます。

株式会社コムデック 代表取締役社長 生田 智之

追伸

ところで皆さんは 30 年ぶりに復活したバスケット漫画の名作「SLAM DUNK(スラムダンク)」の映画をご覧になりましたでしょうか?

私の出身校である奈良県的一条高校は、バスケットの強豪校として知られており、私も中学、高校時代は勉強だけでなくバスケットに明け暮れる日々を過ごしていました。

感動してもう一度是非見たい映画です! 皆さんも是非ご覧ください!



2020 年～ 2022 年の約三年間は、マスク不足や渡航制限にはじまり、出社制限、県を跨ぐ移動の制限や営業時間の制限、集合や面会制限など、重圧下の日常生活となりました。

誰もが過去に経験したことのない事態は、経営者も事業継続に危機を覚えるほどに過酷な三年間であり、多くの企業が足踏みを強いられることになりました。

また、三年の間に人々の「行動」、そして「価値観」に変容が生じ、コロナ後の 2023 年は 2020 年と地続きではなく、全く異なる世界、あるいは IT 技術進化によって変化が爆速化された世界に我々は生きています。

2023 年最初の特集では、必ず訪れる未来である、「2025 年の崖」に向かって「価値観」の変容を見ながら、未来に向かって行動し始めるタイミングであることを確認していただければと思います。

Point!

「2025 年の崖」は以前にも紹介した、経済産業省が平成 30 年に公開した「DX レポート」で提唱された概念で、旧態依然としたシステムを利用していると世界的に進む DX (デジタルトランスフォーメーション) に乗り遅れ日本に年間約 12 兆円もの経済損失が毎年出てしまうという警告です。中小企業の実務でも、旧態依然とした紙や電話、FAX に頼るような業務の仕組みでは、デジタル化が進んだ同業他社に間違いなく劣後してしまうタイミングと言えるでしょう。



提供サービスの変容 「ロボット&セルフ」

近所の「ガスト」や「パーミヤン」で働いているネコ型?配膳ロボットのお値段は、380 万円 (ASKUL の販売価格)。配膳ロボットによって、採用、シフト、突然の退職など店舗責任者を苦しめる悩みが軽減され、また顧客の反応も概ね好意的だそうです。コロナによる接触制限、そして渡航制限や円安による外国人労働者の減少もあり、女性や高齢者に活路を求めるだけでは人手不足には対応できそうにありません。ホテルの自動チェック in&Out 機やセルフレジなど、飲食だけでなく、製造、サービスなど幅広い分野でロボット (AI) の利用が進み、顧客も提供価格に応じたサービス内容として受容する変容が起きはじめています。

飛躍期 (2022 年夏～)

停滞期 (2020 年初頭～2022 年夏)

メディアの変容「タイパ&倍速視聴」

2022年の流行語「タイパ (タイム・パフォーマンス)」的に最も効率が悪い、垂れ流しメディアであるTV 放送から動画サイト標準へと世界は変容しています。動画作成コストの低下もあり、企業でもマーケティングに加えて、採用、学習、操作説明など利用方法は広がっています。閲覧する場所、時間を問わないだけでなく、倍速視聴ができるなど生産性にも優れていることから、文字・画像→動画へのシフトが進みます。



2020~2021

コロナ禍

行動制限・時間・移動・出社制限
各種制限による受難の時期

2022

DX 本格化

コロナによって多様な働き方が実現
企業間の生産性格差拡大

2023

脱コロナ

インボイス制度開始
賃上・採用超困難化

賃金の変容

「より安くから、より高くへ」

経営者としては「賃金はより安い」ことが望ましい ... などと言っている場合ではありません。少子化による人手・人材獲得競争だけでなく、外国人労働者も円安によって賃金の安い日本から離れつつあります。

更にはインフレによる実質賃金の減少によって、インフレ手当が流行になるなど規模や業種を問わない賃上げ競争が始まりました。人口拡大期の代表的な経営の三馬鹿戦術「安売り」「長時間労働」「人海戦術」は法改正や社会情勢により既に禁じ手となっています。中小企業は「高付加価値」で「生産性が高く」、「少人数」で業務遂行できる会社に自社を変容させる必要が生じてきているのです。

※東京の最低賃金 (1,072 円) では、一般的な月労働時間 168 時間換算で 18 万円を超える水準となりました。正社員の月給の最低ラインは、都市部で 20 万円を既に超えるなど、賃金上昇についていけない企業が苦しい状況となる未来は確定しています。



求められる人材の変容「経験者→デジタル人材」

デジタル標準の時代に、経営者を含めた社会人は、IT 苦手を自称している場合ではありません。

採用、教育、マーケティングなど企業運営のあらゆる場面でデジタルツールが使用され、使用する側が有利になるケースが圧倒的に多くなってきたことで、IT サービスを使いこなし、活用できる社会人が求められています。

Zoom や Youtube などのデジタルツールの利用により「いつでも」「どこでも」「誰でも」できる学習環境を整えることも安価にできるようになりました。

日本政府もリカレント教育と称して、IT 活用力が不足している中高年の再戦力化に今後力を入れていく方針になっています。

社会人経験の長いアナログ業務経験者より、「Instagram」で加工した写真や動画を投稿できるような、デジタル人材の方が活躍できる場が企業内でも増えるなど、企業における必須とされるスキルの中身が変容してきているのです。



※埼玉県の場合 求職者に求められる条件として IT 活用力は今後ますます重要視されていきます。

2024

デジタル前提の社会

電子帳簿保存法
健康保険証→マイナ保険証
2025 年の崖 (旧態依然とした仕組の維持限界)



移動・出社の変容「移動は非効率」

コロナ禍による接触・行動制限が行われたことで、Zoom や Teams に代表される Web 会議ツールは、訪問・出社の代替え手段として一気に普及が進みました。

Web 会議ツールによって、移動コスト削減と業務生産性向上が実現し、さらには会議やセミナーの録画による共有など新しい利用方法も進んでいます。

Web 会議ツールによる生産性向上の恩恵を受けた企業では、就業時間を移動に費やす働き方は「タイパ (タイム・パフォーマンス)」が著しく悪いという共通認識ができています。同時にコロナ前と変わらず意味もない訪問・対面を続けている同業他社との間でコスト、スピード面での格差が生じやすくなりました。



まとめ

アゲハチョウが醜い幼虫から美しい蝶の姿に変容するように、IT 技術の進化によってコロナ前後で企業の在り方は、全く異なる姿に変容しようとしています。日本企業における変容を強いる大きな原因は、少子高齢化による採用難であるため、変容を拒み、魅力的な職場づくりを怠れば採用難に直結します。

人手、人材が不足する企業は、徐々に劣化し、いずれ取り返しのつかない日がやってきます。

コロナによって足踏みを強いられた日々は終わりを告げました。

お客様が、そして我々も、2023 年は未来につながる様々な取り組みを行い、飛躍の礎となるような年になるよう行動していきましょう!!

2019

働き方改革関連法案

残業規制 45h・有給休暇 5 日取得義務化
少子高齢化がクローズアップされる

38歳でサラリーマンが社長に

生田専務が樋口社長から社長を引き継いで早半年。60代なんてまだまだ序の口、70代どころか80代まで現役の方も多い地方の中小企業経営者としては異例の早期交代に驚かれた方も多いのではないでしょうか？

皆様の疑問にお答えべく、kintoneのメーカーであるサイボウズの社長室フェローで、コムデックのIT活用戦略セミナーにも登壇いただいたことのある野水さんのYoutubeチャンネル『40チャンネル』に生田社長と樋口会長が登場！交代の理由や交代時の気持ち、これまでのキャリアなどをインタビューしていただきました。



野水フェロー

40チャンネルとは？

40代以降を「人生の後半戦」と位置づけ、その後半戦をいかに楽しく、ワクワク過ごすかをテーマにしたサラリーマン向け Youtube チャンネル。複業・働き方・テレワーク・コミュニケーション・趣味など、さまざまなテーマを深掘りしていかに「中年の危機」を乗り切るかを伝えていく。



社長になった瞬間から辞めるときを考える

生田社長のインタビュー動画はこちら！

2020年秋ごろ、コロナで世間がてんやわんやの中、「伊勢からITで最短最速で多くの中小企業を元気にするため」に経営について真面目に考え出したという生田社長。それまでは場当たり的だったお金の使い方を抜本的に見直し、自分たちの持っているリソースを最大限活用していくことを決めたそうです。そんな中、2021年に社長交代の打診を受けて社長になることを決意。

14年前にLANケーブル（当時24歳の生田社長は『RUNケーブル』と日報に書いていたそうです）を作っていたころからは想像もつかない現在地点ですが、社長になった瞬間から辞めるときは考えていると言います。次誰が社長になるのか、またそれがいつになるのかはわかりませんが、視野を広く持ち事業の幅を広げていきたいとのことでした！

具体的な社長交代時期を考える前から、60代まで社長を続ける気はなかったという樋口会長。というのも、コムデックは変化の激しいIT業界に身を置いており、日々のインプットや感覚のアップデートが不可欠となるからです。従来、社長の仕事と言えば人脈をフルに使って営業案件を決めてくることでした。しかしWEBマーケティングが営業の主流となる中、インプット力が落ちてきていることを感じていた当時の樋口社長は社長を生田専務に引き継ぐことを決意しました。

今後は動ける内に趣味の釣りを楽しみたい……とのことですが、現在はまだまだコムデックのバックオフィス業務の要として活躍中！目標とする「釣り週4、出勤週3」は遠そうです（笑）



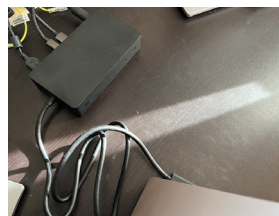
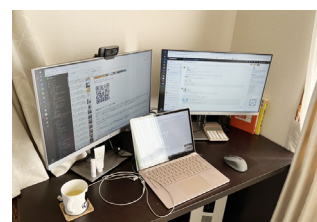
樋口会長のインタビュー動画はこちら！



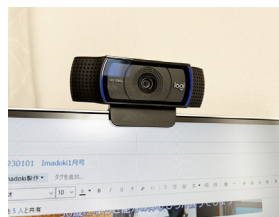
在宅ワーク環境拝見！ Vol.1 「徳田 幾美」

家から直行したほうが近いお客様に訪問させていただくときや、コロナウイルスに感染あるいは濃厚接触者に該当したものの本人はいたって元気な場合など、事情は様々ですが在宅ワークを積極的に取り入れているコムデック。2023年のImadokiではコムデック社員が在宅ワークをする際の環境をご紹介します！果たして毎月続くのか、それとも不定期になるのか、何人紹介できるのかも未定ですが、「こんな環境を整えると家でも効率を落とさず仕事ができる」という事例として、御社の在宅ワーク導入の参考にいただければ幸いです。

初回では、コムデック唯一のフル在宅ワーク社員（業務委託でフルリモートの方はいらっしゃいますが）、徳田の仕事環境のご紹介です。



実家から持ってきた横幅120cmの木製デスクにhpの23インチモニター2枚、それらをsurface専用のドッグでつないでいます。面倒な配線をついにまとめられて、なおかつここから充電もできるので机の上がスッキリします。ただ、会社と違って木製の机は熱が逃げにくく、夏場はエアコンをかけていてもsurfaceが熱暴走しがち……冷却ボードを導入するか、それとも軽く10年は利用している机を買い替えるか悩み中です。昨今はワイヤレスイヤホンが主流ですが、打ち合わせが2連続、3連続……ということも少なくないため、充電のいらない普通のイヤホン愛用しています。また、業務上給与計算の設定をすることも多いので、アナログな電卓や参考書籍もすぐ使える位置に置いています。



surfaceに標準搭載のカメラを使うとどうしても下から煽る構図になってしまい、フェイスラインが見るに堪えないためカメラはlogicoolのHD1080Pカメラをモニターの上に取り付けて使っています！

少し前まではデスクのすぐ横にお菓子の入った籠を置いていましたが、一日で空にしてしまうのでキッチンに避難させました。全くと言っていいほどデスクの前から動かないので、スマホアプリの万歩計で測ってみたところなんと一日の歩行量は100歩いかない日もありました……お打ち合わせの前には一度立ち上がって少しでも体を動かすようにしたいと思います。在宅ワークで運動不足が深刻化しているお客様、一緒にいかがですか？

